

レベルスペーサー提案書

藤本産業株式会社

レベルスペーサー（コンクリート二次製品高さ調整プレート）とは、側溝やL字型擁壁等のコンクリート製品の高さを調整するのに優れています。

レベルスペーサーの特長

1. 再生ポリプロピレン使用の為、耐薬性、耐衝撃性に優れています。
2. 当社製レベルスペーサーはエコマーク認定製品（認定番号18118003号）であり、環境負荷の少ない商品を提供し他社製品との差別化を図ることができます。
3. 複数枚使用による高さ調整時にも、ずれません。（一部凸凹有、ズレ止）
4. S・M・Lサイズについて、2・3・5・10・15・20mm厚の6種類の規格があり幅広い高さ調整が可能です。
5. 基礎コンクリート面に釘固定ができるように、釘頭が出ないようにインサート付きの釘穴を設けました。

レベルスペーサーが使用されるようになった背景としては、現場でのコンクリート打設が少なくなってきたのが現状です。現場打設が少なくなったのは型枠工事には型枠を組むための型枠大工の人手が必要であり、また型枠組立・設置、確認作業、コンクリート打設、養生、型枠解体など作業効率の見直し作業工程の簡素化などもあって、工期・費用面で見直されるようになってきています。近年ではコンクリート二次製品を工場から運びその製品を据付する工事が多くなってきたことからレベルスペーサーのような今までは必要のなかった製品が使用されるようになってきました。



コンクリート

コンクリートとは、セメントと骨材（粗骨材（砂利）と細骨材（砂））に水を加え、練り合わせて固めたものです。

コンクリートの性能を高めたり、使用用途により特殊な性能を持たせるために混和剤を混入して使用されることもあります。

生コン

生コンとは、工場でセメント、骨材、水などの練り混ぜが終わりまだ固まっていない状態ですぐに工事現場へと運ばれる柔らかい状態のコンクリートのことです。

生コンは工場で作られるため練り混ぜも一定で安定した品質を保つことができます。

コンクリート二次製品

コンクリートを使用して、それぞれの場使用場所に適用するように作られた製品のことを二次製品といいます。例えばU字溝、ボックスカルバート、L型擁壁などのコンクリート製の成型品を二次製品といいます。



ボックスカルバート

下水や雨水を流す管路のことで、道路、歩道、貯水溝、防火水槽、共同溝、排水溝、雨水浸透溝、公共下水道、通信設備網など様々な用途に使用されています。

工場での製造管理を行うため、品質が安定しています。また現場打ちに比べて工期の短縮が可能です。小さなものは600×600位から大きなものは3000×3000位のものまであります。

(メーカーにより違い有)



カルバート

道路下等に埋設して使用することが多い箱型形状の製品の事です。
道路横断地下水路、連絡通路等で使用されます。

L型擁壁

土砂の崩壊、流出を防止する（土留め）目的
で使用し、横から見るとL字形の
コンクリート製品です。

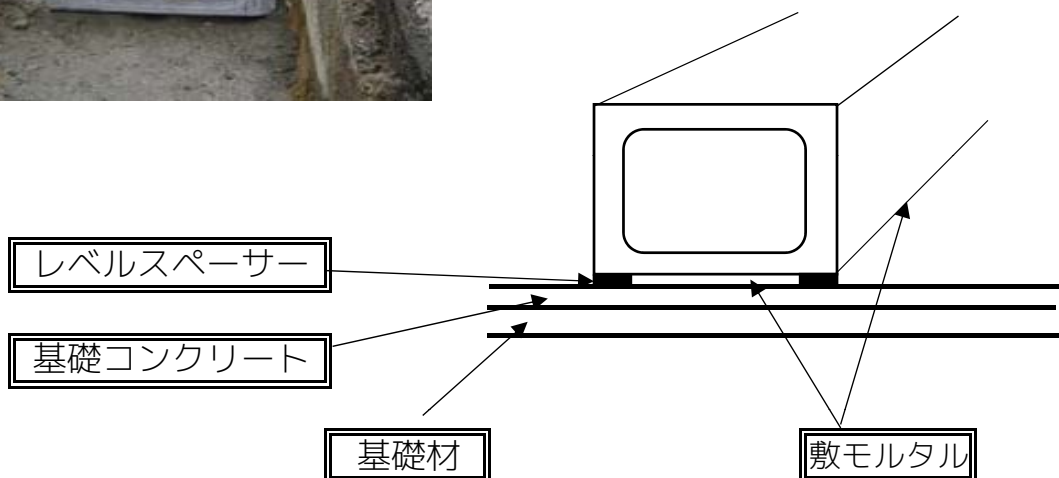
道路工事や造成工事等で主に使用され、
土木現場、建築現場どちらでも見られます。
従来の施工方法である現場打ちに比べて、
大幅な工期短縮や省力化を図ることができます。



レベルスペーサー設置



横の写真のようにU字溝の下の平らに
なっている部分に、基礎材（碎石等）
を敷き詰めます。ある程度固めた
後に基礎コンクリートを打ち、
敷モルタルを敷きレベルスペーサーにて
高さ調整を行いながら二次製品を
置いていきます。





現状では樹脂製のレベルスペーサーのようなプレート使用されていますが、このような商品が販売されるまではベニヤ等の木材、鉄板などで高さの調整をしていました。これらの材料は高さ調整用の商品としてではなく、現場での廃材利用が多く、形、厚み等も様々で不便でした。また、これらの材料は腐食等の関係で二次製品が保持できなくなることが大きな問題でした。その必要性から樹脂製のレベルスペーサーのような商品が開発されることになりました。